

科目名	現代政治学特講	担当者	イデ 井手 ヤスヒト 康仁	期間	通年	単位数	4
-----	---------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>近年、先進諸国において、格差や貧困、テロなど、我々の生活を脅かす諸問題が次々に顕在化している。一方で、こうした問題に対して首尾よく解決策を提示できないかに見える既存の政治に対して、人々が不信感を募らせている。そして、ポピュリズム(大衆迎合主義)的、排外主義的な主張をする政党や候補者が支持を集めるといった現象が各国で見られる。</p> <p>本特講では、まず民主主義とは何かという政治学の基本的なテーマについて理解するとともに、今日の世界が抱える諸問題に対して、民主主義がどのような答えを導くことができるのかについて検討する。</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 世界の現状を理解し、説明する力：有益な情報、資料を選別し、自分の言葉で事象を説明できる。論理的・批判的思考力：様々な角度から事象を分析し、独自の視点から解説できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 無数に存在する政治情報、政治評論の中から、真に有益な情報を選別することができるようになること。民主主義を発展させていくためには何が必要であるかを理解すること。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 1つのレポート作成にあたり基本教材および参考文献の読み込みに25時間以上、Manaba-Folioへの提出・再提出のやりとりに20時間以上を目安とする。</p>		
学修方略 (方法)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba folioを使ったインタラクティブな添削指導を実施する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 まず基本教材をマスターした上で、図書館を利用して参考文献を調査し、レポートを作成する。</p>		
スケジュール	<p>前期：基本教材1のレポート課題1の最終稿は7月中旬までに提出。レポート課題2の最終稿は9月中旬までに提出。</p> <p>後期：基本教材2のレポート課題1の最終稿は11月中旬までに提出。レポート課題2の最終稿は1月中旬までに提出。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	教材内容を十分に理解し、かつ自分の意見や主張を反映させたレポートになっているか。
	平常評価	30%	意見交換などのプロセスを含めて、その取り組みの姿勢などを平常評価として勘案する。
履修者への要望	<p>各教材、参考図書の意味内容の把握だけに終わることなく、こんにちの政治状況全般に関心を持ち、問題点を把握し、改善策を考えるなど、自らの意見を持つように努力をすること。そのためにも、日頃から各種のニュースに関心をもって欲しい。他方で、ニュースで上げられた出来事だけが、全てではないということにも注意して欲しい。例えば、最近の日本では、高齢ドライバーの事故のニュースが連日のように報道されていて、ともすれば若者に比べて高齢者は非常に事故を起こしやすいので免許を取り上げなければといった議論に行き着きやすいが、実際には、10代、20代のドライバーによる事故発生率の方がはるかに高いのが現実である。マスコミが選んで報道した出来事がニュースとなり、報道されなかったことに関しては、我々が知らないだけである。報道のみに依拠して議論することは危険であり、何事においても議論をする際には、自分の力で正しい資料を入手した上で議論をはじめると心に掛けて欲しい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 森政稔 教材名： 『迷走する民主主義』（筑摩書房，2016年）ISBN:978-4-480-06881-1 1,000円+税
	主に最近の日本政治を題材として、民主主義の意義と限界を思想的に問い直して、現在の閉塞状況を打破するための条件について考える。
参考図書	荻部直・宇野重規・中本義彦編『政治学をつかむ』（有斐閣，2011年） ISBN:978-4-641-17715-4 2,200円+税
履修上のポイント	世界がめまぐるしく変動する中で、現代の民主主義が直面している困難について考えるとともに、民主主義をどのように変革していくべきかを考える。民主主義の起源は紀元前に遡るが、近・現代の民主主義は、時代に合わせて何度もモデルチェンジされながら、それぞれの時代に適応して生き続けてきた。民主主義を我々の生活に生かすためにはどうすれば良いか、自分自身のこととして考えてみよう。
レポート課題 1	現代の民主主義のメリットとデメリットはどういった点だろうか。独裁体制のメリットとデメリットと比較しながら論じなさい。 留意点： 教材を熟読した上で、具体的な例を挙げて論じて欲しい。
レポート課題 2	弱者に厳しく彼らの利益にはなりそうにない新自由主義的な政府が、なぜ弱者によって支持される傾向が世界各地で見られるのか考察しなさい。 留意点： 教材を熟読した上で、具体例を挙げて論じて欲しい。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 中谷義和・川村仁子・高橋進・松下冽編 教材名： 『ポピュリズムのグローバル化を問う 揺らぐ民主主義のゆくえ』（法律文化社，2017年）ISBN:978-4-589-03839-5 4,800円+税
	まず最初にポピュリズムとはどのような性格を持つものであるかについて検討した上で、各国のポピュリズムについて、それぞれの国の歴史的・文化的背景等から分析するものである。
参考図書	W. リップマン著，掛川トミ子訳『世論(上・下)』（岩波書店，1987） ISBN: (上)4-00-342221-X 720円+税，(下)4-00-342222-8 900円+税
履修上のポイント	21世紀になってから、ポピュリズム、ポピュリストという言葉がメディアに登場するようになった。そして、アメリカ大統領選挙でトランプが当選して以降、ポピュリズムという言葉は現代政治を説明するために不可欠な言葉となった感がある。ポピュリストと呼ばれるこんにちの政治家達は、どのようにして世論を動かし、味方につけているのか考えてみよう。
レポート課題 1	世論はどのように形成されるのか。世論はどのように操作される可能性があるのか。例えば郵政民営化や原発問題など、具体的な事例を挙げて論じなさい。 留意点： 教材を熟読した上で、具体例を挙げて論じて欲しい。
レポート課題 2	あなたがポピュリストであると考えた現代の政治家1人を挙げて、どのような点においてそう考えられるか、具体的な政策や言動について検証しながら論じなさい。 留意点： 教材を熟読した上で、具体例を挙げて論じて欲しい。